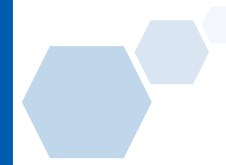


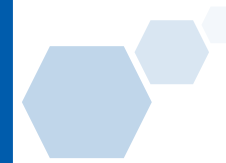
# ICANN65 Marrakech New gTLD Subsequent Procedures PDP



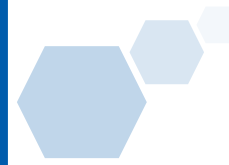
2019年8月8日



- ICANN65について pg 4
- 新gTLD次回申請募集のポリシー策定について pg 7
- 新gTLD申請募集をサポートする際のICANNの準備に関する考察 pg 15

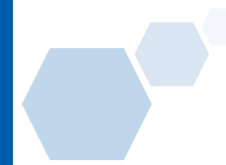


- 新gTLDポリシー策定の経緯と現状についての共有
- ICANNが公開した新gTLD申請募集の準備対策に向けての考察についての共有
- 今後のタイムラインについての理解



## 第65回ICANNマラケシュミーティングについて

---



第65回ICANNマラケシュミーティングは、6月24日～27日まで開催された。ICANNのPolicy Forumであり、3年ぶりの開催であった。

## 個人実績

- 今回はベランダの外に閉じ込められなかった

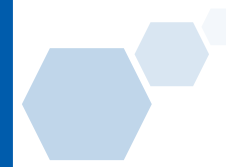
## 個人失敗

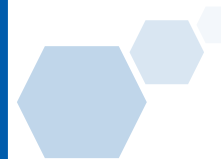
- ラグを二つ買わせられた。

## 注目された課題：

- WHOISの将来・ePDPの議論の進捗
- 新gTLDのポリシー策定の続き
- RPMポリシー策定のサブグループの作業進捗







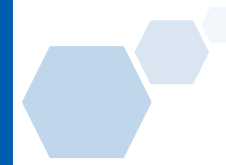
# 新gTLD次回申請募集のポリシー策定について

---

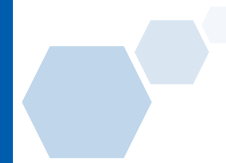


- 2012年にICANNが新gTLDプログラムを開始して、インターネット上に1,200件以上のTLD（トップレベルドメイン）が増えた。
- New gTLD Subsequent Procedures Policy Development Working Group（次回新gTLD申請受付ポリシー策定のワーキンググループ）が2015年Q4より開始された。
- 2012年の新gTLDプログラム（ファーストラウンド）に使用されたポリシーをレビューし、改善する。以降の申請募集機会の基となるポリシーを策定する。
- ワーキンググループの実績
  - 5つの作業トラック（Work Track・WT）における協議
  - Community Commentを2回（CC1とCC2）
  - 中間報告書（Initial Report）のパブリックコメント
  - 補足報告書（Supplementary Report）のパブリックコメント



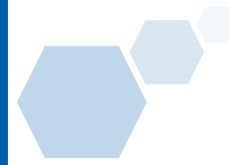


- パブリックコメントをレビューするため、WGがサブグループA, B, とCに分かれて、コメントを検査して議論順位を決定した。
- 現在WGは包括的な課題に関して最終的な結論に至るための議論を行っている。
- 固まってきた包括的な課題に関する議論を要約文書にまとめる。
- 共通テーマの課題を集めて議論概要と方向性をまとめている。
  - Overarching Issues
  - Foundational Issues
  - Pre-Launch Activities
  - Application Submission
  - Application Evaluation/Criteria



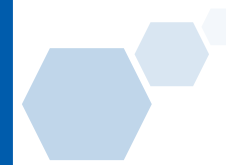
本件のテーマに以下の課題が含まれている。

- Continuing Subsequent Procedures
- Predictability
- Community Engagement
- Clarity of Application Process
- Applications Assessed in Rounds
- Different TLD Types
- Applications Submission Limits
- Accreditation Programs (e.g., RSP Pre-Approval)



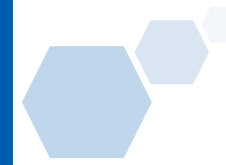
本件のテーマに以下の課題が含まれている。

- Competition, Consumer Choice and Consumer Trust
- Global Public Interest
- Applicant Freedom of Expression
- Universal Acceptance



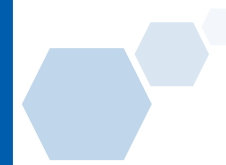
本件のテーマに以下の課題が含まれている。

- Applicant Guidebook
- Communications
- Systems



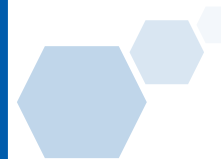
本件のテーマに以下の課題が含まれている。

- Application Fees
- Variable Fees
- Application Submission Period
- Applicant Support
- Terms & Conditions



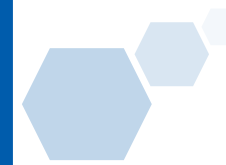
本件のテーマに以下の課題が含まれている。

- Reserved Names
- IGO/INGO Protections
- Geographic Names
- Registrant Protections
- Closed Generics
- String Similarity
- IDNs
- Security and Stability
- Applicant Reviews: Technical/Operational, Financial and Registry Services
- Role of Application Comment
- Name Collisions



# 新gTLD申請募集をサポートする際のICANNの準備に関する考察

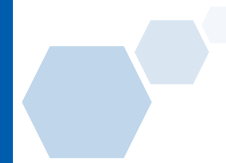




ICANNスタッフが第65回ICANNマラケシュミーティング前に新gTLDの申請募集に対する準備の考察 (Assumptions) を公開した。

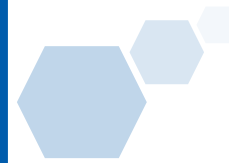
- 申請募集を実施する準備を指導させるための8つの議題を採択した。
- ICANNの理事会まで合意を取った考察である。
- 主に対応中のポリシー策定に基づく。
- 最終的なポリシー結論によって影響されると考える。

<https://www.icann.org/en/system/files/files/readiness-support-future-rounds-new-gtlds-07jun19-en.pdf>



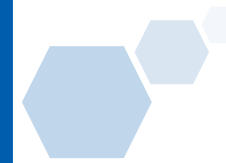
## ICANN Assumptions

- Timeline to next round
- Expected volumes of applications and processing time
- Policy implementation
- Readiness activities
- Systems & tools
- Operational processes
- People
- Costs



背景：タイムラインというのは、セカンドラウンド開催の開始日程を意味するが、まだ明確な日付が出ていない。

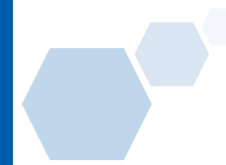
考察：開催前にポリシー策定を実施してプログラムに関わる準備及びプロセスを完成させる必要がある。



背景：申請者の数は、セカンドラウンドが開いたら、何者からの何件の申請を意味する。また、単発的な開催ではなく、いくつかの申請募集を行う場合に受付する申請数に関わる。

考察：

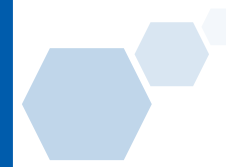
- セカンドラウンドの際に想定する申請数を2000件まで
- 継続して何回か申請募集を行うと時間につれて申請数が減る
- 申請者に優先順位をつけて、効率よく進行する
- TLDの委任率の限度を年／1,000件
- 以降、申請募集を1年に1回、1カ月～3カ月開催する



背景：2012年の申請募集の基礎となった申請ガイドブックは複雑かつ詳細が足りない内容であった。

考察：

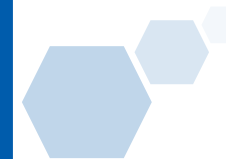
- 今後の申請ガイドラインに変更が発生すると考える
- 新しい書類やガイドブックを作成・修正を行う必要がある
- 2012年の申請募集と比較してより詳細な精度まで明確にする



背景：ICANN設立からインターネットを拡大するためのgTLD申請募集が3回行われた。2012年の新gTLDプログラム以降にgTLD募集を行うというポリシーの姿勢である。

考察：

- 何度かの申請募集を対応可能なインフラを定める
- プログラムに必要な人材、プロセスとシステムがあるように準備する

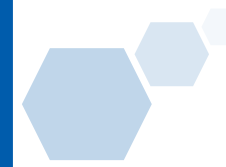


背景：2012年の申請募集から現在まで引き続き利用してきたシステムとツールを改善する必要がある。前回に比べてより効率いいツールが求められる。またユーザフレンドリーなプラットフォームと環境が必要である。

考察：

- システムを改善すべき
- 手続きに関わる重要機能とデータ処理に対するツール開発
- 既存の素材、システム、ツールを工夫して開発
- 内部のノーハウとテクニックを駆使して開発
- プラットフォームをOracle, Alfresco,またはSalesforceのどれかを使う
- すべての開発はセカンドラウンド開始前に終了





背景：申請募集を道ぶくための業務フロー。前回の2012年のプロセスをポリシーから出る変更内容と照り合わせる必要がある。

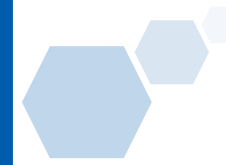
考察：

- 円滑な手続きのための業務フローとスタッフ教育。
- 申請者の申請経験を満足度高く目指す

背景：前回の2012年の申請募集を対応するため、ICANNの年度予算は主に新gTLDプログラムの運営費と人件費から激増したと考えられる。主な申請手続きと審査手続きの処理が済んだ後、ICANNは年度予算を減らす方向性である。

考察：

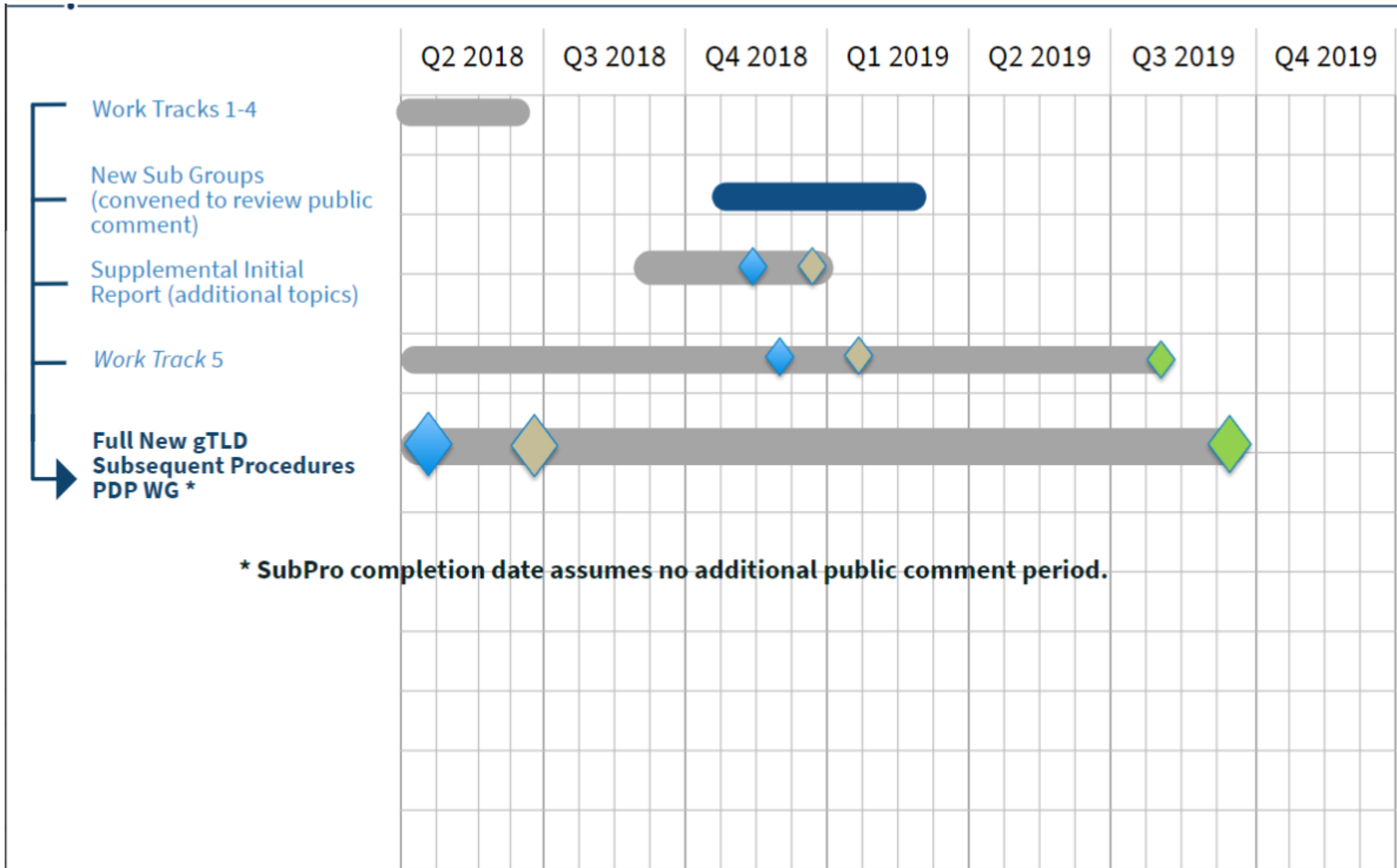
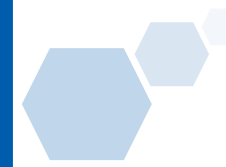
- 事前に人材育成を予測してプログラムの業務管理と運営を内部で行う
- 重要な申請機能を外部の専門知識に頼る
- 現段階、ポリシー実施とプログラム導入に人材が足りない
- 必要に応じて、追加に人材を確保する
- 作業負荷によって2年間に過ぎない臨時雇いの人材を採用する



背景：ICANNがプログラムを計画して準備する投資費用をどのように飲むかについて。

考察：

- 新gTLD申請募集のプログラムを費用回収という基礎で運営。
- プログラム実施にかかる準備費用を予測し計画中である。



\* SubPro completion date assumes no additional public comment period.

**KEY**



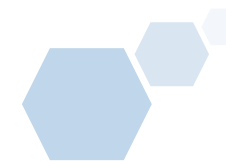
Publish Initial Report



Close of Public Comments



Final Report Delivered to Council



当資料に関するお問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

**GMO** Brights Consulting

GMOブライツコンサルティング株式会社

**Michael Flemming**

e-mail : [consul@brights.jp](mailto:consul@brights.jp)

TEL : 03-5784-1069

Fax : 03-3462-5040

- 当資料の著作権は、GMOブライツコンサルティング株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。